



東京都高等学校数学教育研究会
事務局 都立本所高等学校内
事務局長 小山 克之
発行所 都立千歳丘高等学校内
編集発行人 大島 和華子
都数研HP <http://tosuiken.jp/>

令和5年度 総会

令和5年度総会が、令和5年5月13日(土)14:00から都立多摩科学技術高等学校にて行われた。昨年、3年振りに対面の総会を実施したが、今年度も無事に対面で行うことができた。議事の流れは以下の通りである。

1. 会長挨拶
2. 令和4年度 事業報告
3. 令和4年度 決算報告
4. 令和5年度 役員・理事
5. 新会長挨拶
6. 新役員紹介
7. 令和5年度 事業計画
8. 令和5年度 予算

なお、役員に関しては昨年度の原田会長に代わり、今年度から森田校長が会長に就任された。主な役員一覧は以下の通りである。

会 長	森田 常次 (多摩科学技術・長)
副 会 長	塩谷 耕 (京華女子・長)
	石崎 規生 (桜修館・長)

事 務 局 長	小山 克之 (本所・長)
事務局次長	宇佐美 俊哉 (神代)
	池田 卓也 (一橋・定)
研 究 部 長	加藤 瑞樹 (稔ヶ丘・長)
副部長	高木 和美 (武蔵野北)
	福原 利信 (田園調布・長)
	佐々木 雅人 (井草)
定 通 部 長	東 達康 (三田・副)
編 集 部 長	大島 和華子 (千歳丘・長)
副部長	高寺 寛樹 (新島・副)
	奥村 英夫 (葛西南・定)
監 事	萩原 聡 (西・長)
	高橋 豊 (高島・長)
	梅原 章司 (日比谷・長)

その他の議事は全て承認され、研究発表に移った。発表に関しては次のページに記載する。

会長挨拶 会長 森田 常次(都多摩科学技術高・校長)

本年度、東京都高等学校数学教育研究会会長を仰せつかりました東京都立多摩科学技術高等学校長の森田常次です。前年度までの都数研の活動方針を継承、発展できるよう邁進してまいります。どうぞよろしくお祈りします。

さて、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行され、各校では感染症対策を講じながらも通常の教育活動の展開を推進されていることと存じます。また、各校におかれましては、昨年度入学生から段階的に実施される新学習指導要領等、観点別学習状況の評価への対応、大学入学共通テストの受験に向けた指導、生徒一人1台端末などへの具体的な取組を実践されていることと存じます。このような中、都数研会員の先生方には、都数研の活動に御理解、御協力を賜り感謝申し上げます。

私たちは、生徒一人一人が自分自身の学びを振り返り、学びの質をどのように高めているか、より深い学びに向かっているかどうかを捉えていくことが必要です。また、令和6年度から本格実施される「大学入学共通テスト」が本格導入され、様々な点で変化がもたらされます。

令和5年度も令和4年度に引き続き、東京都高等学校数学教育研究会研究テーマを「改訂高等学校学習指導要領全面实施に向けた数学教育の研究：観点別学習評価や大学入試改革に向けた数学学習を目指して」に設定しました。

研究部では、学習指導法分科会、大学入試分科会、ICT分科会、数学I分科会、定通分科会で授業研究を中核とした議論を進めていきます。また、編集部では、「研究集録」の発行や各分科会の成果を年3回発行の「会報」にまとめ、都数研のホームページに掲載することで、全国に向けて発信してまいります。

都数研では今年度も、変化の激しい現代を生き抜く生徒に、「自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。」という気持ちを大切に、会員の先生方による研究を推進していけるよう、出来得限りの対応してまいりますので、どうぞよろしくお祈り申し上げます。